

チーム名	Seventy Nine	大学・学部	東京国際大学	多摩川ステージ
プラン名称	多摩川循環型△(デルタ)システム			
リーダー名	野澤 滯	テーマ	かわまちづくりを意識した「観光まちづくりプラン」	事務局記入欄
指導教職員名	宮口 直人			
メンバー名	片桐 蘭 塚田 自由人 新井 美貴子			

### 川崎市の課題

#### 1.川崎市民の地元への愛着の無さ

(第1回アンケート)  
図表1-8 町内会・自治会の活動参加の有無(性・年齢別・居住区別)



「あまり参加したことがない」「全く参加したことがない」の回答を含めると町内会・自治会に参加していない市民は全体の83.1%にも及ぶ

(川崎市オープンデータ かわさき市民アンケート 平成28年度 第一回より)

#### 2.近寄りがたい多摩川沿いのイメージ

- アンケートをしている中に河川敷の雑草に不満
- 2015年多摩川河川敷内での殺害事件(日本経済新聞2015年2月20日)

素晴らしい資源がある!

#### ◎雑草ペレット

→多摩川の雑草を乾燥させて圧縮、成形し固形燃料にしたもの



雑草ペレット(イメージ)

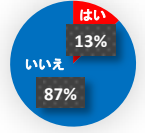
しかし まだ試作段階の為  
使い道が定まっていない

[京浜河川事務所でのヒアリングより]

#### ◎キングスカイフロント



キングスカイフロントを知っていますか



→医療、環境分野で研究開発や新産業を創り出す拠点  
→多摩川を挟み羽田空港の対岸に位置し、アジアのシリコンバレーを創る為の重要なプロジェクト(川崎市資料より抜粋)

[フィールドワーク調べ]

しかし 地域住民の認識が不足  
(右図参照)

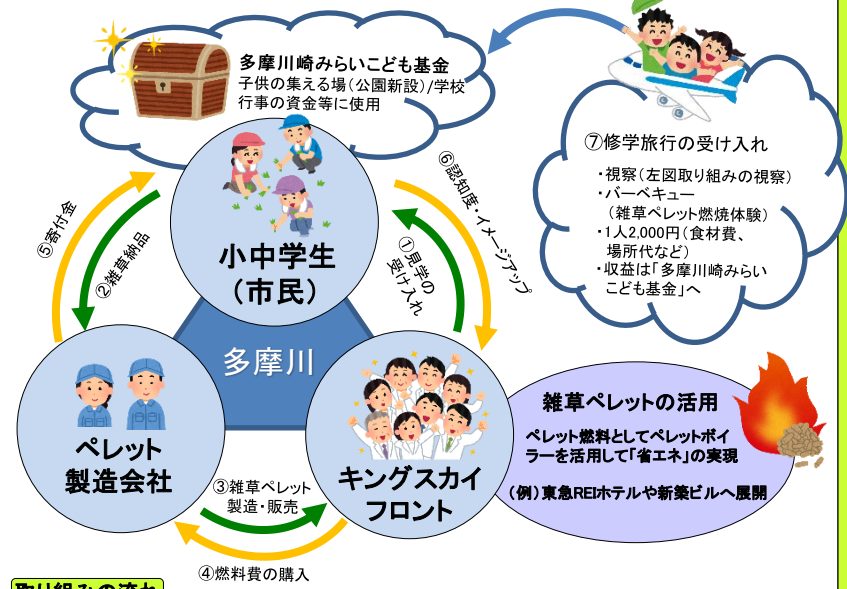
### 企画 コンセプト

「川崎の地域資源」×「川崎市民の意識改革」

→ 新しい川崎の魅力づくり

### 企画内容

## 「多摩川循環型△(デルタ)システム」



### 取り組みの流れ

- 小中学生対象の「総合的な学習の時間」を利用したキングスカイフロント(KFS)の見学
- 小中学生による多摩川河川敷の草刈り
- ペレット製造会社が小中学生が刈った雑草を圧縮・成型し、雑草ペレットを製造
- KSFが雑草ペレットをペレット製造会社から購入
- 刈った雑草を提供してくれた市民(小中学生)に還元するため、ペレット製造会社が「多摩川みらい子ども基金」へ収益の一部を寄付
- ペレットボイラー導入の普及と外部からの視察(修学旅行等)の受け入れによる認知度及びイメージアップ
- 雑草が生み出す循環型地産地消エネルギーの実現

### 実現した場合の効果

① 雑草除去作業費年間2,000万円の削減  
(多摩川まちコンオープンデータより)

② ペレットボイラーと灯油ボイラーの差額

東急REIホテル1年間のガス予想使用料金  
一ヶ月1,125万円×12ヶ月＝1億3500万円  
ペレット予想しよう料金  
一ヶ月724万円×12ヶ月＝8,688万円  
1億3,500万円－8,688万円＝4,812万円の削減

③ 修学旅行の受け入れ 初年度264万円

東京・神奈川を修学旅行先とする年間総数:約44万人  
(「公財」日本修学旅行協会2014年調べ)  
初年度受け入れを3%とし、一人当たりの費用2,000円の利益を10%とした場合、  
(44万×3%)×(2,000円×10%)＝264万円となる

④ 多摩川みらい子ども基金の設立

ペレット製造会社の寄付金 + 修学旅行の売り上げ

### 将来ビジョン

地域住民の手による「多摩川沿いの環境の向上」  
雑草ペレットによる「エネルギーの地産地消」

川崎市民の地元への  
愛着の向上